

# 教育部 学校教育課

事務職員<社会教育主事>

入庁 15 年目

今は、  
学校教育課で  
仕事を  
しています。

今日は、  
届いた書類の  
内容を確認して  
進めていきます。

わからないことは  
周りの職員に  
相談しながら  
進めていきます。

内容を  
整理して、  
関係部署に  
照会します。

みんなで  
助け合いながら  
仕事を進める  
雰囲気があります。

入庁して15年。  
これまでいくつかの  
部署を経験してきました。

## 公民館

最初は公民館で、  
地域住民のニーズや  
社会課題に応じた  
市民向け学習講座の企画・  
運営、個人・サークルの  
学習支援、地域団体の  
活動支援等をしていました。

## 市長部局

その後、  
市長部局の業務にも  
携わりました。

## 現在 学校教育課

そして今は、  
教育部の  
学校教育課で  
仕事をしています。

仕事内容や  
所属する部署は  
変わってきました。

でも——  
どの仕事にも  
同じものが  
あったことに、  
あとから気づく  
ことになります。



以前は、  
社会教育関係の  
部署で仕事をし  
ていました。

社会教育主事の仕事は、  
地域のイベントや生涯学習の  
取り組みなど、市民の方と  
携わる機会が多い仕事です。



異動したときは、  
それまで関わっていた  
市民の方との関係も  
ここで一区切りだと  
思っていました。



ところが、  
異動した後も――



元気か？

以前の部署で関わった  
市民の方が、今でも  
気にかけてくださり、  
助けていただくことが  
あります。



部署が変わっても、  
こうしてつながりが  
残っていることに  
嬉しさを感じます。



これまで  
いろいろな仕事を  
経験してきましたが、  
仕事の内容は  
変わっても——

どの仕事にも  
共通している  
根っこがあると  
感じるように  
なりました。



それは——  
住民の生活を  
支えること。



教育の分野であっても、  
市のさまざまな業務であっても、  
最終的には市民の皆さんの  
暮らしにつながっている——  
そう実感しています。



部署が変わっても、  
こうしてつながりが  
残っていることに  
嬉しさを感じます。

これから先も、  
守口市で市民の皆さんの  
生活を支える仕事を  
続けていきたいと思っています。